

平成 19 年 3 月 5 日

作業員の負傷について

平成 19 年 3 月 3 日午前 11 時 30 分頃、定期検査中の 4 号機原子炉建屋 1 階において、制御棒駆動水圧系^{*1}のアキュムレータ^{*2}の取り付け作業を実施していたところ、アキュムレータおよびコンベアが転倒し、コンベアに載せていた鉄板が協力企業作業員の左足甲にあたり、負傷したため業務車にて病院へ搬送いたしました。

診察の結果、左足挫傷で、約 3 週間の加療を要すると診断されました。

確認の結果、当該作業員はコンベアに載せたアキュムレータを手で支えておりましたが、アキュムレータの設置箇所を清掃するために手を離れた際、アキュムレータとコンベアのバランスが崩れて転倒して、コンベアに載せていた鉄板が左足甲にあたったことがわかりました。

アキュムレータのバランスが崩れた原因は、コンベアの高さ調整が不十分であったため、コンベアが水平に設置されていなかったものです。

対策として、以下の内容を要領書に追記しました。

- ・ コンベアが水平であることを水平器にて確認する。
 - ・ アキュムレータ設置箇所の清掃等でアキュムレータから手を放す際には、転倒防止処置を施した上で行う。
 - ・ アキュムレータを支える人を事前に決め、声を掛け合って作業を行う。
- また、本事例を、当社を含め協力企業に周知し、注意喚起いたします。

当該作業員に放射性物質による汚染はありません。

以 上

* 1 制御棒駆動水圧系

復水系統などから制御棒駆動機構に通常操作のための駆動水、スクラム時の高圧水などを供給する系統。

* 2 アキュムレータ

窒素ガスを封入した容器。